

平成 26 年度 事業実施報告書

I 国際交流の活発化 3,384,013 円

※決算額は管理費部分を除く純事業費を記載（以下同様）

1. 外国人の受入拡大事業 2,538,959 円

本県とのつながりが深く、県が重点的に交流を進めている北東アジア地域について、当該地域と交流実績のある関係団体と連携しながら、民間レベルでのより一層の相互交流の拡大を図った。

(1) 北東アジア友好交流促進事業

①黒龍江省との友好交流促進事業

中国黒龍江大学への日本語教師派遣支援事業〔県委託事業〕

日本語教師1名の派遣に対し助成を行った。

②モンゴルとの交流事業

モンゴルで設立された「モンゴル・新潟親善協会」と連携し、ウランバートル市において、大学等で日本語を学ぶ学生を対象とした「新潟賞」日本語スピーチコンテストを開催した。また、副賞として優秀者3名を新潟旅行に招待した。

【スピーチコンテスト】

期日：8月18日(月)

会場：モンゴル・日本センター（ウランバートル市）

参加者：10名（観覧者約50名）

【優秀者の新潟旅行招待】

期間：11月17日(月)～24日(月)



③モンゴルへの技術協力事業

(特活)新潟県対外科学技術交流協会他関係団体とともに実行委員会を組織し、次の技術協力事業を実施した。

ア モンゴル国緑化推進技術協力事業〔JICA 草の根技術協力事業〕

東ゴビ砂漠に位置するドルノゴビ県の中心であるサインシャンド周辺の緑化に貢献することを目的に、専門家を派遣するとともに研修生を受け入れた。

・実行委員会構成団体：

新潟県対外科学技術交流協会、新潟県（国際課・林政課・森林研究所）、
（公財）環日本海経済研究所、（公財）新潟県国際交流協会

・専門家派遣：5月8日(木)～17日(土)、9月1日(月)～10日(水)

・研修生受入：11月3日(月)～8日(土)

イ モンゴル国中小都市の中小企業等への技術協力事業〔CLAIR 自治体国際協力促進事業〕

モンゴルにおける製造業を中心とする技術力の向上及び地域の経済発展に貢献することを目的に、専門家を派遣するとともに研修生を受け入れた。

- ・実行委員会構成団体：

新潟県対外科学技術交流協会、新潟県（国際課）、（公財）環日本海経済研究所、（公財）新潟県国際交流協会

- ・専門家派遣：8月17日(日)～21日(木)
- ・研修生受入：11月24日(月)～30日(日)

ウ モンゴル国ウランバートル市地区排水技術協力事業〔JICA 草の根技術協力事業〕
ウランバートル市の技術者の道路排水技術の向上を図り、道路湛水被害を軽減させ都市機能の向上に寄与することを目的に、研修生を受け入れた。

- ・実行委員会構成団体：

新潟県対外科学技術交流協会、新潟県（国際課、都市整備課）、
（公財）環日本海経済研究所、（公財）新潟県国際交流協会

- ・研修生受入：平成27年2月1日(日)～7日(土)

(2) 留学生就職支援セミナー

留学生の県内企業への就職を促進するため、日本での就職活動に必要な情報の提供や、留学生と企業との意見交換を実施した。

【第1回】

- ・期日及び会場：6月3日(火)、朱鷺メッセ
- ・参加者：留学生42名、企業・団体関係者3名、大学等5名、計50名
- ・内容：

第1部

講演「日本の就職活動とは ―留学生が知っておくべき基礎知識―」
(株)マイナビ新潟支社キャリアサポート課長 星野佳奈美氏

第2部

①留学生採用企業による話

(株)ダイヤモンド常務取締役生産技術本部長 長谷川信氏

②既卒留学生による就活体験談発表

(株)大谷商会国際部食品グループ 劉洋氏

(株)本間組建築部工事課 ナムスライ・バヤンムンフ氏

【第2回】

- ・期日及び会場：9月29日(月)、ホテル日航新潟
- ・参加者：留学生26名、企業・団体関係者17名、大学等2名、計45名
- ・内容：

第1部

講演「留学生の就職に伴う在留資格」
南国際行政書士事務所代表 南直人氏

第2部

参加企業による自社紹介 計12社

第3部

留学生と企業との意見交換

進行総括：新潟大学教育・学生支援機構キャリアセンター特任教員 川端由美子氏



【留学生の県内企業見学】

- ・期日：10月30日(木)
- ・訪問先企業：(株)マルト長谷川工作所、フジイコーポレーション(株)
- ・参加者：留学生8名

2. アジアを知る事業 299,248円

(1) 国際理解講座

県が重点的に交流を進めている北東アジア地域への県民の関心を高め、海外渡航の増加につなげるため、大学等の協力を得ながら一般県民向けの講座を県内4地区で計7回開催した。

①新潟市

○「食文化を通してベトナムを知る」

新潟県国際交流員(CIR) グエン・ティ・ミン・ゴク氏

日時：11月8日(土) 14時00分～16時00分

会場：新潟市食育・花育センター 参加者：28名

○「韓国・朝鮮史と日韓友好」

新潟国際情報大学教授 吉澤文寿氏

日時：11月30日(日) 14時00分～15時30分

会場：新潟県民会館 参加者：33名

○「米国から見た日中米トライラテラル関係」

新潟大学大学院・国際センター准教授 張雲氏

日時：12月6日(土) 14時00分～15時30分

会場：新潟県民会館 参加者：23名



②柏崎市

○「ハルビンの食文化～手作りで皮から水餃子を作ってみよう～」

中華料理ハルビン経営 本間悦子氏

日時：11月1日(土) 10時00分～12時00分

会場：柏崎市市民プラザ 参加者：24名

○「すごろくから始まった世界の将棋～日韓の将棋の違い」

新潟産業大学准教授 蓮池薫氏

日時：11月16日(日) 14時00分～15時30分

会場：柏崎エネルギーホール 参加者：22名

③南魚沼市

○「遊民時代の観光」

(株)双日総合研究所取締役副所長 同チーフエコノミスト 吉崎達彦氏

日時：9月24日(水) 14時00分～15時30分

会場：南魚沼市図書館 参加者：63名

④上越市

○「富寿司グループの海外展開について」

(株)宮崎商店副社長 宮崎富夫氏

○「小さな大国・シンガポール—観光と教育事情から見る先進性—」

上越教育大学講師 河野麻沙美氏

日時：10月18日(土) 13時00分～15時00分

会場：上越市市民プラザ 参加者：36名

3. 受け皿整備事業 545,806円

(1) ホストファミリー整備事業

国際理解の推進と海外からの来県者のホームステイ先の確保・充実を図るため、ホストファミリー講座及びホームステイ体験を実施した。また、日本文化やマナー等について説明した在住外国人向け「ホームステイゲストマニュアル」(日・英・中)を作成した。さらに、ホストファミリーやホームステイ経験者による座談会形式の「ホストファミリー入門講座」を開催し、受け入れ未経験者へ情報提供を行った他、経験者のネットワークの構築を図った。

①ホストファミリー講座

ア 長岡会場

- ・期日及び会場：10月18日(土)、
まちなかキャンパス長岡

- ・参加者：日本人8名、外国人(留学生・CIR)14名

イ 新潟会場

- ・期日及び会場：10月19日(日)、
新潟県国際交流プラザ

- ・参加者：日本人23名、外国人(留学生・外国語指導助手(ALT))15名



②ホームステイ体験

- ・期間：11月～12月の週末1泊2日
- ・参加者：19家庭、ALT・留学生22名
- ※アンケートに回答した受入家庭に対し、受入1名につき3,000円を補助した。

③ホストファミリー入門講座「ホストファミリーって、どんな感じ？」

- ・期日及び会場：平成27年3月7日(土)、新潟県国際交流協会研修室
- ・参加者：10名(一般県民、ホストファミリー経験者、ホームステイ経験者、アドバイザー)

II 国際協力活動の支援 7,756,668 円

4. 新潟・国際協力ふれあい基金事業 7,756,668 円

(1) NGO 等への助成

「新潟・国際協力ふれあい基金」の運用益をもとに、海外において県内 NGO または個人が行う人道援助活動や人材育成活動等に対し助成金を交付した。

・助成実績：9 件、計 7,000,000 円

(2) 基金運営

① 審査委員会の運営

助成対象の審査等を行う審査委員会を開催した。

- ・期日：12 月 12 日(金)
- ・会場：新潟県国際交流協会研修室
- ・参加委員：7 名

② 募金活動

市町村役場や県内各地の日帰り温泉施設及び宿泊施設等に引き続き募金箱の設置を依頼し、広く県民に「新潟・国際協力ふれあい基金」事業の周知を図るとともに、県民から基金への寄附を募った。

③ 募金実績

(単位：円)

	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
募金額	234,625	159,956	137,714	125,993	122,786
累 計	14,882,237	15,042,193	15,179,907	15,305,900	15,428,686

Ⅲ 多文化共生の支援 43,593,398 円

5. 国際理解推進事業 4,242,512 円

(1) 国際理解教育プレゼンテーションコンテスト

学校での教科や「総合的な学習の時間」及びクラブ活動、その他地域での活動等における国際理解についての学習成果に関するプレゼンテーションコンテストを開催した。なお、副賞として各部門最優秀チームを海外スタディツアーに派遣した。

【プレゼンテーションコンテスト】

- ・期日及び会場：12月13日(土)、朱鷺メッセ
- ・参加団体：中学生部門 10 チーム、
高校生部門 13 チーム
- ・最優秀賞：

〈中学生部門〉早通中学校

「イスラムとの交流を通して考えたこと」

〈高校生部門〉新潟高校

「自己をアピールしない日本人」



【スタディツアー】

- ・派遣期間：平成27年3月26日(木)～29日(日)
- ・派遣先：韓国ソウル市
- ・参加者：早通中学校 生徒6名、指導者2名
新潟高校 生徒3名、指導者1名
- ・活動内容：輪中中学校見学及び交流会、ホームステイ、
新潟県ソウル事務所訪問、ソウル市内見学等

(2) 協会広報誌

県民向け広報誌「NIA Letter」（旧「SHALL WE PORT?」から名称変更）を回数や頁数を増やして発行した。

- ・発行時期：7月(第1号)、11月(第2号)、平成27年3月(第3号)
- ・配付先：【日本語版】県内高校・大学等、図書館・市町村及び民間団体等
計14,000部
【英語版】 県内公民館・図書館・民間団体等 計4,000部

(3) 国際理解教育推進協議会

県内の小中高生・大学生及び教員を対象とする全県的な国際理解教育事業を推進するため、行政や関係機関等で構成する国際理解教育推進協議会を開催した。

- ・期日及び会場：平成27年3月3日(火)、朱鷺メッセ
- ・参加者：20名

- ・議題：平成26年度事業実施報告、平成27年度事業案等
(国際理解教育プレゼンテーションコンテスト、国際交流インストラクター養成事業、国際理解教育推進重点校設置事業)

(4) 国際交流プラザでの展示等

県民の国際理解を促進するため、新潟県国際交流プラザにおいて各種展示やイベントを実施した。

- ①「ポンボ・イン・ジャパン挿絵展～コロンビアと日本をつなぐ共同製作絵本～」
会期：7月1日(火)～16日(水)

- ②「わーどウォッチ～つながっているんだ、ぼくらと世界～」
会期：7月19日(土)～8月29日(金)

関連イベント「親子で作ろう！バン格拉デシュの伝統的な刺しゅう体験&フェアトレード・ワークショップ」(7月27日(日))

- ③「トーベ・ヤンソンのふるさと フィンランドを知るミニ展示会」

会期：平成27年2月27日(金)～5月1日(金)

また、民間団体に国際交流プラザを貸し出し、次の各種国際交流活動について展示・紹介等をする機会を提供した。

- ・パネル展示「ラオスのこどもたち」5月14日(水)～6月11日(水)
- ・パネル展示「韓国舞踊“サムルノリ”」10月1日(水)～11月14日(金)
- ・「新潟からフェアな世界を作るための1日ワークショップ」11月16日(日)
- ・パネル展示「あなたの大切なものは何ですか」平成27年3月25日(水)～4月15日(水)



6. 在住外国人支援事業 2,349,195円

(1) 外国人生活相談事業

地域住民の一員として在住外国人が安心して暮らすことができるよう、通訳員を配置して外国人生活相談に対応した。平成27年1月より月1回、行政書士が来所して相談に対応することとした。

- ・対応言語：3カ国語(英語、中国語、タイ語)
- ・相談件数：168件(延べ回数252件(窓口87件、電話165件))
- ・相談内容：在留手続き、くらし、医療・健康、労働等

(2) 相談員・通訳員育成

県内で外国人生活相談に対応する相談員や通訳員の資質向上を図る研修会を実施した。

- ・期日及び会場：平成27年3月13日(金)、新潟県国際交流協会研修室
- ・講師：(公財)兵庫県国際交流協会スペイン語相談員 村松紀子氏

(3) 相談関係機関との連携

① 1日入管インフォメーションセンター

東京入国管理局が実施する「1日入管インフォメーションセンター」に合わせ、外国人対応ができるよう相談員・通訳員を配置した。

- ・日時及び会場：6月20日(金)10時00分～15時00分、新潟県国際交流協会研修室
- ・相談件数：12件

② 行政書士による外国人無料相談会

新潟県行政書士会との共催により、在留資格等の専門的な分野を中心とする外国人無料相談会を実施し、外国人対応ができるよう相談員・通訳員を配置した。

- ・日時：11月25日(火)10時00分～15時00分
- ・会場：新潟空港 CIQ 棟会議室（東京入国管理局新潟出張所となり）
- ・相談件数：16件

(4) 外国籍児童生徒就学支援

日本語を母語としない子どもと保護者等を対象に、日本の学校制度や高校進学等に関する説明会を県内3地域で開催するとともに、多言語版関係資料（10言語：日・英・中・韓・ロシア・インドネシア・タイ・タガログ・スペイン・ポルトガル）を更新しホームページに掲載した。

① 上越地区「進学ガイダンス～新しい高校入試制度について～」

- ・期日及び会場：8月30日(土)、
上越市市民プラザ
- ・主催：(公社)上越国際交流協会、
(公財)新潟県国際交流協会
- ・参加者：5カ国（中国、フィリピン、ペルー、
ルーマニア、日本）30名



② 中越地区「日本語を母語としない子どもと保護者のための進学ガイダンス」

- ・期日及び会場：9月13日(土)、柏崎市市民プラザ
- ・主催：(公財)柏崎地域国際化協会、(公財)新潟県国際交流協会
- ・参加者：1カ国（フィリピン）8名

③ 下越地区「日本の高校に行こう！～新しい高校入試と、日本の学校生活について～」

- ・期日及び会場：9月6日(土)、朱鷺メッセ
- ・主催：(公財)新潟県国際交流協会
- ・参加者：2カ国（中国、ブラジル）4名

7. 留学生支援事業 37,001,691 円

(1) 県内大学院グローバル化促進事業

将来の日本と本国とのビジネス交流の架け橋となる人材を育成し、新潟を拠点とした国際的な人的ネットワーク形成と「選ばれる新潟」を推進するため、県内大学院に入学するアジア地域からの私費留学生に対し入学金及び授業料のそれぞれ2分の1以内の奨学金を交付した（平成26年度の認定をもって新規奨学生認定は終了）。

・助成実績：合計 35,178,600 円

平成25年度認定分（授業料）

国際大学12名、新潟大学3名、事業創造大学院大学5名、
長岡技術科学大学1名 計21名

計 13,721,600 円

平成26年度認定分（入学金及び授業料）

国際大学14名、新潟大学9名、事業創造大学院大学9名、
長岡技術科学大学1名、計33名

計 21,457,000 円



Ⅳの 1 基盤強化（民間活動活発化） 4,328,264 円

8. 民間団体助成事業 3,018,521 円

（1）国際化推進活動助成金の交付

民間団体等が実施する国際交流活動を支援し、地域の国際交流活動の促進を図るための助成金を交付した（年2回）。

- ・助成実績：民間団体等 20 団体（申請団体 25 団体、うち不採用 2 団体、助成決定後取消 3 団体） 計 2,921,122 円
- ・事業内容：在住外国人支援、国際文化交流、通訳育成等

（2）研修室等の貸出

民間団体の国際交流活動を促進するため、国際交流プラザや研修室の貸出を行った。

- ・利用時間：平日の原則として 14 時～21 時、土日・祝日の 9 時～21 時
- ・利用件数：36 件

9. 民間団体ネットワーク構築事業 127,343 円

（1）国際交流連絡会議

県内 3 地域において、市町村や民間団体等と情報交換・意見交換を行う国際交流連絡会議を開催した。

○長岡会場

- ・期日及び会場：4 月 21 日(月)、まちなかキャンパス長岡
- ・参加者：16 団体・25 名

○新潟会場

- ・期日及び会場：4 月 22 日(火)、朱鷺メッセ
- ・参加者：35 団体・45 名

○上越会場

- ・期日及び会場：4 月 25 日(金)、上越市市民プラザ
- ・参加者：7 団体・11 名

10. 在外県人会活動支援事業 1,182,400 円

ブラジル、アルゼンチン、ホノルル、ペルー、パラグアイの各新潟県人会及び新潟県海外移住家族会に対し、活動を支援するための助成金を交付した。

団 体 名	助成額 (円)
ブラジル新潟県人会	450,000
ホノルル新潟県人会	150,000
アルゼンチン新潟県人会	150,000
パラグアイ新潟県人会 (新規)	150,000
ペルー新潟県人会 (新規)	150,000
新潟県海外移住家族会	100,000
合 計	1,150,000

Ⅳの2 基盤強化（人材育成） 1,917,490 円

11. 人材育成事業 1,917,490 円

民間の国際交流団体の人材育成と次世代を担う若者の国際理解推進のため、各種支援を行うとともに、当協会としても人材育成事業を実施した。

（1）NGO スタッフ育成講座

国際交流・国際協力等を目的に設立された既存の NGO や、これから NGO 活動を始めたい人を対象とした研修会を実施した。

- ・期日及び会場：平成 27 年 2 月 28 日（土）、クロスパルにいがた
- ・テーマ：「国境を越える理由 国際協力という生き方を選んだ人たち」
- ・講師：（特活）国際協力 NGO センター JANIC 調査提言グループ 堀内葵氏 他
- ・参加者： NGO 団体、学生、個人等 48 名



（2）ボランティアバンクの運営

国際交流に関する事業へのボランティア派遣やボランティアに対する研修会等を実施し、ボランティアバンクのさらなる活性化を図った。

①通訳・翻訳ボランティア、アースサポーター（イベント運営ボランティア）の活用

- ・通訳・翻訳ボランティア登録者数 104 名
（英語 57 名、中国語 24 名、韓国・朝鮮語 16 名、スペイン語 3 名、ロシア語 2 名、その他の言語 2 名）
- ・アースサポーター登録者数 45 名
- ・イベント等への紹介数 延べ 68 名

②通訳ボランティアセミナーの実施

通訳技術の向上や通訳ボランティア活動に関する情報交換を目的とするセミナーを開催した。

- ・講師：スペイン語通訳者 岩田久美氏
- ・期日及び会場：平成 27 年 3 月 1 日（日）、朱鷺メッセ
- ・参加者： 37 名

（3）国際交流インストラクター養成事業〔新潟国際情報大学・敬和学園大学・新潟県立大学連携事業〕

大学生 111 名（情報大 60 名、敬和大 21 名、県立大 30 名）を国際交流インストラクターに委嘱し、小中高生等を対象に国際社会への関心と学習意欲を高めるための国際理解ワークショップを実施した。

- ・派遣実績：県内 32 校（小学校 15 校、中学校 6 校、中等教育学校 2 校、高校 9 校）



- ・テーマ：「世界の現実」、「世界の不平等」、「異文化理解」

(4) 国際理解教育推進重点校設置事業

県内の中学校・高等学校等における国際理解教育の推進及び意識啓発のため、国際理解教育に熱心に取り組んでいる中学校・高等学校等の中から8校を選定し、各種国際理解教育メニューを実施し評価してもらった。

実施校：中学校3校（与板、五泉北、早通）
高等学校3校（海洋、五泉、佐渡）
中等教育学校2校（直江津、高志）

(5) 外国人に対する医療支援につなげるための事業

県内における外国人に対する医療支援の現状や課題等を認識するとともに、今後の外国人医療支援の充実化につなげるために他県先進例を学ぶ勉強会を開催した。

①「外国人に対する医療支援の現状等に関する勉強会」

期日及び会場：平成27年2月22日(日)、朱鷺メッセ
講師：新潟県国際交流協会中国語通訳相談員 唐善恵氏
長岡市国際交流課嘱託通訳 早川正子氏
済生会新潟第二病院院長 吉田俊明氏

参加者：46名

②「外国人に対する医療支援の先進例に関する勉強会」

期日及び会場：平成27年3月14日(土)、朱鷺メッセ
講師：医療通訳研究会代表・医療通訳士協議会理事 村松紀子氏
参加者：32名

(6) 災害多言語支援ボランティア育成事業

災害時に外国籍住民等を支援する人材を育成するため、外国語ができる日本人または日本語ができる外国人を対象に、模擬訓練を含むボランティア育成研修を実施した。

①第1回「災害時外国人支援セミナー」

日時及び会場：11月26日(水)、新潟県自治会館
講師：長岡市国際交流センター長 羽賀友信氏

②第2回「災害時外国人支援ワークショップ」

日時及び会場：12月14日(日)、朱鷺メッセ
講師：(公財)柏崎地域国際化協会事務局長
清水由美子氏

③第3回「災害時外国人支援模擬訓練」

日時及び会場：12月14日(日)、朱鷺メッセ
講師：羽賀友信氏、清水由美子氏



Ⅳの3 基盤強化（広報情報提供） 1,342,090 円

12. 広報・ライブラリー運営事業 800,005 円

県内団体や一般県民等に対し、国際交流や国際協力に関する情報及び当協会の事業等に関する情報を広く提供した。

（１）PR記事掲載

朱鷺メッセのフリーペーパー「トツときガイド」にPR記事を掲載した（年2回）。

（２）年次報告書発行

平成25年度の事業についてまとめた年次報告書を作成し、関係機関等に配布した。

（３）プラザ・ライブラリー運営

各種情報資料（図書、ビデオ、CD、雑誌、新聞、各種団体刊行物）を整備し、県民の利用に供した。

①蔵書等の状況（平成27年3月末現在）

- ・ 図書 4,103 冊
- ・ 各種団体発行物
（一財）自治体国際化協会、他都道府県・政令指定都市国際交流協会が作成した調査・会議・フォーラム等の報告書等
- ・ ビデオ 533 本、DVD59 本、CD134 本、CD-ROM 8 本（開発途上地域での NGO 活動を伝える映像資料等）
- ・ 雑誌 31 誌
- ・ 新聞 日本語 2 紙（新潟日報、日本経済新聞）
外国語 4 紙（イズベスチャー、ジャパントイムズ、人民日報、東亜日報）
- ・ その他の資料…県内外の NGO や全国の国際交流協会の機関誌、語学学習用教材（外国語、日本語）等

②年間貸出実績（貸出は賛助会員のみ）

各種情報資料（図書、ビデオ、CD、雑誌、新聞、各種団体刊行物）を整備し、県民の利用に供した。

- ・ 図書 14 冊

13. IT活用促進事業 362,880 円

ホームページに各種情報を掲載するとともに、県協会ニュースや関連団体の県内外イベント情報等を定期的にメールマガジンとして配信（配信先 441 カ所）したほか、新たにフェイスブックページを開設した。

14. 賛助会員募集事業 60,911 円

(1) 賛助会員数の推移

(単位：会員数)

	22 年度末	23 年度末	24 年度末	25 年度末	26 年度末
個人	26	35	30	32	42
団体	69	60	53	56	65
計	95	95	83	88	107

(2) 賛助会員へのサービス

賛助会員向けに主に次のサービスを実施した。

個人会員	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社利用割引 ・レストラン等利用割引 ・朱鷺メッセ関係施設等利用割引 (県立万代島美術館割引券利用件数 18 件) (県立近代美術館割引券利用件数 6 件)
団体会員	<ul style="list-style-type: none"> ・研修室の貸出 (36 件) ・国際化推進活動助成金の交付 (20 団体、総額 2,921,122 円) ・印刷機・紙折機の利用
個人会員 団体会員 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント案内等の送付 ・国際情報ライブラリーの図書貸出 (14 冊) ・国旗貸出 (96 件)、ふれあい地球人ボックス貸出 (14 件)

15. 国旗等貸出事業 118,294 円

国際交流活動を行う賛助会員や団体に対して、世界各国の国旗や地球人ボックス (民族衣装・グッズ等) の貸出を行った。

貸出実績：国旗 34 団体・96 件

地球人ボックス 11 団体・14 件